

## 今年の射手は橋口 晋賀(しんが)君

8月9日、高山流鏑馬保存会のメンバーが今年の射手、橋口晋賀君宅を訪問しました。

小学生の頃から射手に憧れており、自分で綾藺笠(あやいがさ)を真似て作ったこともあるそうです。実は動物が苦手な晋賀君ですが、それ以上にやりたいという気持ちをもっており、「不安もありますが、伝統行事を続けられるように射手として頑張りたい。」と意気込みを語りました。父の晋也さんは「コロナの影響も心配されるが、本人のやりたいという気持ちを尊重し、応援したい。」とコメントしました。



左から川野会長、晋賀くん、父親の晋也さん

## 内之浦地区クリーン作戦

8月4日、午前6時30分から、内之浦地区の国道・県道沿いのゴミ拾いを行う「内之浦地区クリーン作戦」を実施いたしました。早朝より地域住民、各団体の方々が多数参加され、空き缶、ペットボトルなどたくさんのゴミを拾い集めることができました。きれいな道路でドライバーも気持ちよく安全運転ができると思います。

国道448号線、県道561号線は、「大隅半島南回りルート」にも指定されており、町外からの観光客も多数見込まれますので、皆様のご協力のもと、「ポイ捨てをしない・させない」きれいな町にしていきたいと思います。



## まちの話題

# TOWN TOPIX

## 無病息災を願って 岸良のナゴシドン

8月14日、岸良地区の平田神社と岸良海岸にて伝統行事のナゴシドンが行われました。

昨年は、台風の影響で中止となり、今年も新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれましたが、人ごみを避けるため、本来午後から始まる行程を早朝にずらし、一部を省略して行われました。ナゴシドンのつなぎ手実行委員会会長の榮倉茂樹さんは「昨年は中止、今年は簡略化することになったので、来年こそは真っ当に神事を行いたい。」と伝統行事にかける想いを語っていました。



## 岸良海岸でウミガメ放流

岸良小中学校では毎年ウミガメ保護活動に取り組んでいます。今年も卵を保護し、8月14日にウミガメ放流会を行いました。

今年は新型コロナウイルスの影響を考慮し、地元小中学生とその保護者のみで行われました。約20頭を放流し、子供たちは「元気でね。また岸良に帰ってきてね。」と声をかけながらウミガメの赤ちゃんを送り出しました。岸良小学校6年生の倉一楓君は「元気で育って岸良にまた帰ってきてほしいと思いながら放流しました。」と語っていました。

